【実行団体用】

事業完了報告書

提出日：2023 年　4 月　3 日

1．事業概要

（1）実行団体名：特定非営利活動法人　かしわのもり
（2）事業名　：　ここから実験室
（3）事業実施期間：2020 年 4 月～2023 年 3 月
（4）資金分配団体名：　一般社団法人　北海道総合研究調査会

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☐ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☑ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 助成事業期間中、利益相反に該当する様な事案はなかったため行っていない。 案件が発生した場合は規程に基づき対応する。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。 2022/4 非営利組織評価センターにより評価を受けた
（7） 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。（実施予定の場合を含む）
☐ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ／ ☐ 実施予定もない ※（複数選択可）
→上記で「外部監査」または「内部監査」を選択した場合、その実施者を記載してください。 特定非営利活動法人かしわのもり会計監査 監事 2 名により実施
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☑ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	9/14　活動拠点レンガの家　十勝毎日新聞 10/14　ここから実験室　芋ほり　十勝毎日新聞 11/25　ここから実験室　ネアリカ制作＆終了式　十勝毎日新聞
広報制作物等	有	ここからキッズ募集
報告書等		

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

ボランティアのここから隊の機動力に支えられた 3 年間でした。子供たちの活動、ここからカフェへ等幅広く参加いただいた一方で、ここから隊にはアクティブシニアの方も多く、活動内容に配慮をようする場面もあり、次年度以降は継続して運営できるプログラムとなるよう工夫が必要である。またベテランの経験を引き継ぐ新たなボランティアメンバーの育成が必要である。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

ここから実験室

チョークアート in 鹿追消防署

本来であれば、屋外の広いスペースを使ってのチョークアートでしたが、急な雨により室内での開催となりました。10mの黒模造紙を 3 枚使い、アスファルトに描く時よりもチョークの発色がきれいに出るという、想定外の発見がありました。描くスペースは狭いながらも、のびのびカラダを使って、自分が描きたいものを表現する子ども達の集中力に驚かされました。

芋掘り

この日は、殆どのここから隊のメンバーが不在の中、鹿追高校生を中心とし、若手ボランティアや保護者の方々の大活躍により、子どもたちも心折れる事なく、大量のさつまいもの収穫を行えました。年長～3 年生の体力では不安もあった収穫面積でしたが、どんどん出てくるさつまいもを夢中で掘り進める子ども達の姿に、大人サイドからの言葉掛けや距離感も、自然な流れで一体感を感じた時間となりました。

ネアリカ制作＆修了式

今年度の締めくくりは、ネアリカという作品作りでした。初めて挑戦する子が殆どでしたが、作業工程を細分化する事で、年長さんでもスムーズに取り組めました。写真にはありませんが、修了式では修了証と共に子ども達へのプレゼントとして、あんこ部制作の、ここから実験室の焼印入りどらやきも配られました。来年度はあんこ部発信で、子ども達との食の繋がりが持てる活動への期待が膨らむ時間でした。

ここからカフェ

ボランティア活動の意味・ありかたカフェ

ここから隊の方に向けて今までの活動を振りかえりながら、ボランティアの座学。
ここから隊の年齢層はまだ幅が狭く、一定層の比率が高くなっています。なので、悩み事や想う事に同じ傾向が。これからの課題も含めての学びの時間でした。

居場所作りのワークショップカフェ

地域の方々に参加いただき、何が出来るか何がしたいかを抽出作業をしました。グループに分かれて意見を出し合い、発表。
若い方がいるグループの発想の豊かさに驚かされた時間でした。
これを現実にしていくのが楽しみな時間となりました。